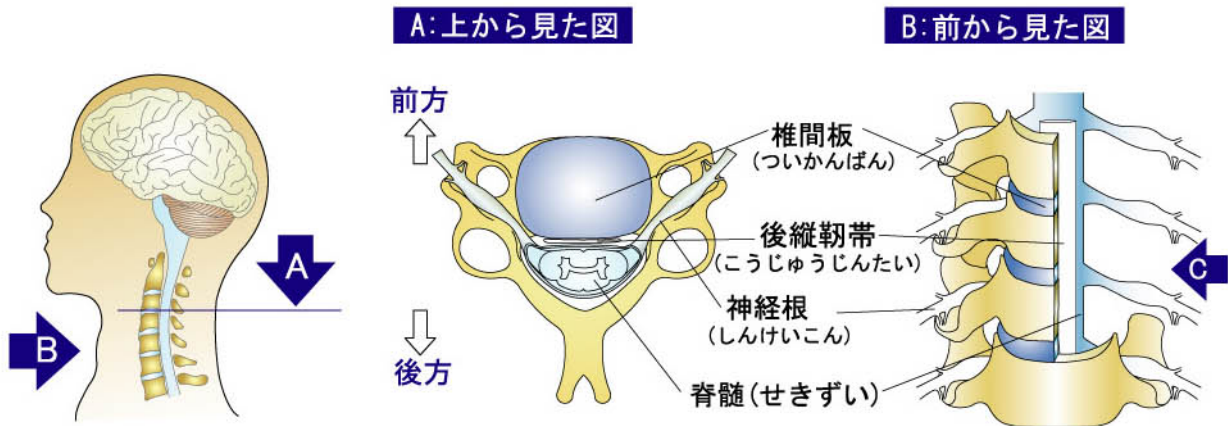


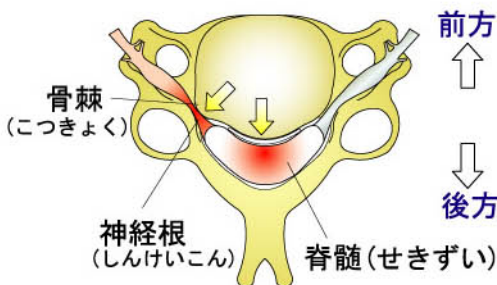
○ 頸椎の構造



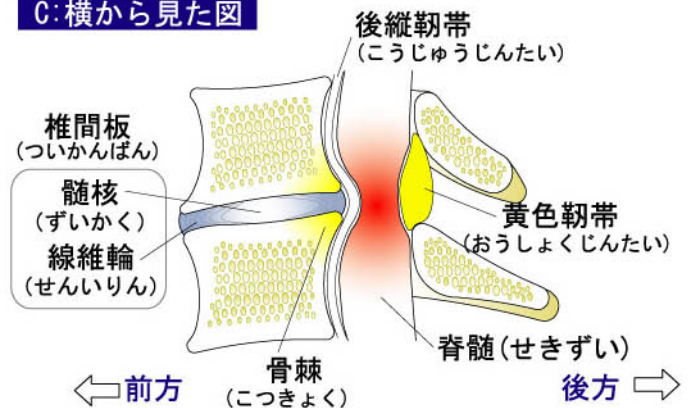
○ 頸椎症 (けいついしょう)

頸椎症は、頸椎の老化変性が原因で引き起こされます。よくみられるのが、骨が加齢により変形して骨棘(こつきよく)という突起ができ、脊髓や脊髓から枝分かれした神経根(しんけいこん)とよばれる神経が圧迫や刺激を受けて、しびれ、痛み、脱力などの症状を発生させるものです。

A: 上から見た図



C: 横から見た図



○ 頸椎椎間板 (けいついついかんばん) ヘルニア

椎間板ヘルニアは、骨と骨の間でクッションの役割をする椎間板の組織がとび出し、脊髓や神経根を圧迫することにより、症状が発生します。老化により、椎間板がもろくなるためですが、若くても、外から強い力が働き、おこることもあります。

C: 横から見た図

